

オートメーションの果たすべき役割が 拡大する今 現場での対話・協創を通じて 価値を創造します

私たちは、1906年の創業以来、計測と制御の技術を追求し、独自のソリューションをお届けしてきました。一世紀以上にわたり社会やお客様の現場で、様々な課題に直面しつつも、その解決の過程を通して自らも成長してきました。

2012年4月には、社名を株式会社山武からアズビル株式会社に變更しました。おかげさまでたくさんの方々に親しんでいただけるようになったazbilブランドの下、グローバルで「ビルディングオートメーション(BA)事業」「アドバンスオートメーション(AA)事業」「ライフオートメーション(LA)事業」の3つの事業を推進し、お客様を中心に、オフィスや生産の現場、生活といった様々な場面で「azbilグループならではの」価値提供を目指しています。ここ数年、新型コロナウイルス感染

症や地政学的リスクに端を発したグローバルサプライチェーンの混乱、エネルギー価格の高騰をはじめとするインフレの影響等、私たちを取り巻く厳しい環境の変化が継続していますが、中長期的には、オートメーションに求められる役割はますます広がるものと考えています。

グローバル化の進展や社会の持続的成長に向けた社会的責任の拡大といった事業環境の変化、技術革新、少子高齢化の進行や働き方改革の進展、気候変動への対応等に加えて、お客様自身が進められているグローバルサプライチェーンの再構築やエネルギー転換等への対応は、オートメーションで対応すべき課題領域のさらなる拡大をもたらすものと思われます。azbilグループならではの技術・製品・サービスを活かす



取締役 代表執行役社長
山本 清博



ことのできる3つの成長事業領域である「新オートメーション事業」「環境・エネルギー事業」「ライフサイクル型事業」での成長を核に、グローバル展開や事業領域における取組みをさらに推進し、多様なステークホルダーの皆様との対話・協創を通じて変革を加速、成長を目指していきます。

本統合報告書では、こうしたオートメーションによる価値創造の取組みを通して「持続可能な社会へ『直列』に繋がる貢献」を目指すazbilグループならではのサステナビリティ経営について、その戦略・施策をご説明しています。AI・各種センシング技術など先進技術を活用した製造現場の安全と生産性、価値向上に貢献する新たな商品・サービスの提供や建物・地域社会での環境・エネルギー課題解決による事業拡大、そのため

の事業・企業基盤のさらなる強化、人材への投資等を通じ、グループ理念に通じるSDGs(Sustainable Development Goalsー持続可能な開発目標)の具体的なターゲットを設定、取組みを進めることで、サステナビリティ経営を実現していきます。

当社は2022年度に、コーポレート・ガバナンスのさらなる改革を進めることを目的として、「指名委員会等設置会社」に移行しました。これにより経営の透明性・健全性を強化し、社員、経営が一丸となって、「人を中心としたオートメーション」の探求を通じて持続的な社会の発展に貢献できる企業集団を目指します。